

■チャペルコンサート vol.35 「LAST TANGO」 出演者プロフィール

柴田奈穂 Naho Shibata (ヴァイオリン)

京都出身。6歳からバイオリンを始める。これまで仙崎明子氏、フェルナンド・スアレス・パス氏、中西俊博氏に師事。アルゼンチンタンゴに傾倒し、2006年ソロアルバムをブエノスアイレスで録音、リリース。「LAST TANGO」主宰。2015年公開映画「この国の空」のアレンジと演奏を担当。現在、サポートを含む様々なライブやレコーディングなど、国内外でジャンルを超えて活躍中。



田ノ岡三郎 Saburo Tanooka (アコーディオン)

音大卒業後独学で活動開始し、後にパリにてダニエル・コラン氏に師事。自身のオリジナル曲を中心にこれまで4作のソロアルバムを発表し、様々なアーティスト作品の録音参加やTV出演も多数。ジャンルに関係なく華やかなステージとの相性は抜群。歌うように奏であげる音色には定評のある「旅するアコーディオニスト」として、多彩なシーンで活躍する日々を送る。



江森孝之 Takayuki Emori (ギター)

潮先郁男氏にジャズギターを師事。パークリー音楽院卒業。様々なアーティストのサポート、レコーディングやミュージカル等幅広く活動している。タンゴでは志賀清氏のグループに在籍し、藤沢嵐子氏のサポート経験を持つ。アコースティックなフュージョン系のバンド、「パナシェ」のリーダーとしてライブ活動を行い、3枚のCDをリリースしている。



西村直樹 Naoki Nishimura (ベース)

1995年上々颱風の正式メンバーとなり、スタジオジブリ作品「平成狸合戦ぽんぽこ」へのレコーディング参加や、日本各地、韓国、インド、ドイツ、ハワイへ演奏旅行を経験。現在はヴァイオリンの柴田奈穂とのデュオ「NaoNaho」を主宰し、フリージャズドラマー、のなか悟空のバンドや白崎映美の「東北6県ロールショー」などジャンルを超えた活動を精力的に行う。無類の料理好き。



マヤン Mayan (ヴォーカル)

ヴォーカリストで、ミュージック・バー「Bar Nyarango」(旧On The Railroad)(東京都板橋区成増)のオーナー。Tangoの他に、Jazz、Bossa Nova、Pops、Rock…音楽のジャンルを超えてオールマイティに歌う。ヴァイオリンの柴田奈穂らメンバーと出会い、Tangoの魅力に嵌り自己の新しい一面を発掘中。音楽とお酒と猫をこよなく愛する、情熱的で、時に涙もろいらテンな女。



■チャペルコンサート vol.35 プロデューサー



大木雄高 Yutaka Oki (音楽プロデューサー)

1945年広島県生まれ。1960年～70年同時代演劇の作・演出を手がけ、俳優としても出演。1975年東京下北沢にジャズバー「レディ・ジェーン」開店。1979年伝説の「下北沢音楽祭」を企画プロデュース。1980年多目的イベントホール「スーパーマーケット」開館、演劇の街下北沢の魁となる。1985年「ロマーニッシュ・カフェ」開店、世界のミュージシャンの受け皿となる。以後、独自のイベント企画を実現、今日に至る。

本リリースに関するお問合せ先

オリエンタルホテル広島 セールス&マーケティング部 PR TEL:082-240-9462 (直) FAX:082-240-9460

山根 春菜 E-mail:haruna.yamane@oriental-hiroshima.com

※画像のデータをお送りいたします。上記電話番号またはメールアドレスまでご連絡ください。